

初心

2012年盛夏号

平成24年7月発行
年2回刊
題字／福田富一 書

〈発行所〉
福田富一
暮しと政治研究所
〒320-0026
宇都宮市馬場通り2丁目1番12号
TEL 028 (633) 1111
<http://www.tomikazu.com>

「二歩一歩着実に前進を」

栃木県知事 福田富一



活力ある明日に向けて

知事3期目を目指して

暑中お見舞申し上げます。

節電への取り組み、電力不足の不安、電気料金値上げへの不満・・・今年も暑い夏と思われそうですが、くれぐれもご自愛専一にてお願い致します。

私も皆様の格別なるご支援とご協力によりまして、お陰さまで2期8年を満了しようとしております。光陰矢のごとしの8年にも思えますが、様々な課題が次から次へと押し寄せ、その克服の連続であったとも言えます。

― 1期目の課題 ―

私の顔が『足銀』に見えると言われたほど、一時国有化された足利銀行の受け皿問題は、金融行政が国であるがゆえの難題でありました。

公約に掲げた県庁舎の縮小（18階建を現在の15階に）や、芳賀赤十字病院から始まった県内の医師不足の問題も気の抜けない課題でした。リーマンショックでは、日に日に県内景気が悪化していく状況が見て取れるぐらいさまたしい不況への転落を経験し、その対策の指揮も取りました。

― 2期目の課題 ―

日本経済がリーマンショックから立ち直りかけている最中に東日本大震災に見舞われ、加えて福島第1原発の事故による原子力災害も発生し、対応に追われました。千年に一

度と言われる震災と予想だにできなかった原子力災害により次々と湧き起こる問題の処理の最中、台風や豪雨災害、竜巻被害も発生してしまいました。改めて犠牲になられた方や被害に遭われた方々にお悔やみとお見舞を申し上げます。現在、市町とともに地域防災計画の見直しを進めており、この中で原子力や竜巻災害への対応や自主防災組織の育成、避難者や孤立集落対策の充実など、県民の命を守ることを第一に様々な取り組みを行なうこととしております。

一方で、『スポレク・エコ・栃木』の大成、平成26年1月の冬季国体の誘致決定、奥日光に次いで渡良瀬遊水地のラムサール条約湿地登録、結城紬のユネスコ無形文化遺産登録、スカイツリー内商業施設へ全国唯一のアンテナショップ『とちまるショップ』のオープン、足利・大田原赤十字病院の移転新築、北関東自動車道の全線開通など長年の取り組みに花を咲かせることもできました。

また人の縁に恵まれ、今年度から日本大学客員教授に就任し、大学での人づくりにもひと役買うことになりました。

― 今後の課題 ―

少子化、超高齢化、人口減少社会にあって、安心して子供を生み育てることのできる環境の充実。年齢や障害に係なく、その人らしい社会的

自立や参加、何よりいつまでも地域で頼りにされ、感謝されつつ人生を全うできる社会づくり。多様な住まいの提供と在宅介護の充実による安心社会の構築。

グローバル社会に対応する人材の育成として、留学生支援や国際ビジネス経営の習得などによる国際人の育成支援。全国4位のものづくり県として今後も持続発展が可能となるよう、人材育成や技術力アップへの産学官金（金は金融機関）の連携強化や施策の充実。

栃木づくりを支えてくれる県民の健康増進の取り組みを強化することや、成人病予防などで効果を上げ、健康寿命を延ばすことにより、平均寿命ワースト県を返上するなど、今後の課題にも果敢に挑戦したいと思います。

― 決意 ―

政治生活30年を迎えることができ、知事としても2期8年務めさせてもらいました。体力、気力と今日までの経験や知識は、まだ『元気な栃木づくり』に役に立つと自信を持っております。今日の混沌とする社会や信頼を損ね続けている政治を見るにつけ、活力ある明日に向けて『一歩、一歩』着実に前進させるべく、栃木県のリーダーとして責任を果たして参りたいと存じます。引き続きご支援ご指導宜しくお願い致します。

「日本一元気な栃木を目指したい」

福田知事 3選出馬を表明

福田知事は5月25日、県庁で記者会見し、「新たな4年間で『チームとちぎ』のリーダーとして、東日本大震災と原子力災害を乗り越え、日本一元気な栃木県の実現に向けて全身全霊を傾けたい」と、12月8日の任期満了に伴う知事選に3選を目指して出馬することを正式に表明した。

福田知事は「(2期目の)4年目を迎えて多くの県民からもう少し栃木のために奉仕しろと激励をいただいた。災害復興を成し遂げたいとの思いも3

知事は7項目から成る選挙公約の柱を示したうえで、「災害に強い地域づくり」などの条例の制定などに意欲を示した。選挙公約は9月発表予定。

東京に栃木を売り込め

「とちまるショップ」開店

東京スカイツリー(東京都墨田区)が開業した5月22日、併設されている都内最大級の商業施設「東京ソラマチ」4階に、本県初のアンテナショップ



「とちまるショップ」がオープンした。加工食品や伝統工芸品など県産品1千点以上を販売するほか、国内外の人に栃木の魅力を売り込む、観光情報発信基地としての役割を担う。オープニングセレモニーで、福田知事は「(東日本大震災などからの)復興の中で、世界一有名な観光スポットにアンテナショップができるのは、200万県民の希望の灯火になる。栃木の良さ、味を大いに堪能してもらいたい」と、観光誘客の呼び水になることを期待した。

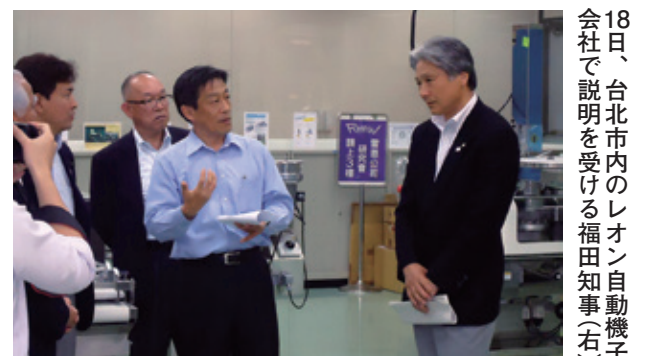
とちまるショップは2010年8月、県と県内市町によ

福田知事は5月16日、19日の日程で、風評被害の払拭と観光客誘致のため、県議会の高橋文吉議長ら5人と共に台湾を訪問した。16日は、台湾の対日交流窓口機関「亜東関係協会」を訪れ、観光復興支援や、地元産食品の台湾への輸入制限の解除を要請。その後、流通大手「統一超商」の台北市の本社を訪れ、徐重仁総経理と会談。福田知事は「徐総経理は本県を理解してくれる第一人者。統一超商の社員研修旅行で本県

福田知事が台湾訪問

風評被害払拭へ観光PR

を巡ってほしい」とアピールした。17日は、高雄市で同市長と会談したほか、旅行会社やメディア事業者向けの観光説明会を開催。18日は、台北市内でレオン自動機の現地子会社、亜太雷恩自動機を視察。その後、台北市内のホテルで開かれた栃木県主催の観光説明会に出席。19日は、台北市内のショッピングモールで行われた栃木県観光展で、買い物に訪れた市民らに「友達を誘って栃木県へ足を運んで下さい」と呼び掛けた。



18日、台北市内のレオン自動機子会社で説明を受ける福田知事(右)

る共同運営方式で設置を決めた。店舗面積は約160平方メートル。壁や床、照明などには県産材をふんだんに使用し、店全体で栃木を感じられるデザインとした。

来場者、6日間で6万人

とちまるショップの来場者が27日までの6日間で約6万人、売り上げは約400万円で、1日平均1万人が訪れたことになり、福田知事は29日の記者会見で「健闘している。今後いかにリピーターが増えるかが鍵で、栃木らしさを実感し続けるかが大切だ」と強調。さらに「店内は終日にぎわい、とちおとめジェラートやレモン牛乳が売れ筋」と明かした。

県原子力対策本部を設置



福島第1原発事故による放射能汚染対策などに取り組むため、県が1日付で新設した県原子力対策本部の設置式が4月2日、県庁で行われた。同本部の事務局を担う県原子力災害対策室の前で、本部長の福田知事が看板を設置した。福田知事は「縦割り行政の弊害を打破し、県民の不安を解消するための一元的な情報提供を担う。県民の安心を取り戻してもらえよう、先頭に立って努力したい」と話した。

放射能対策など議論

とちぎ元氣フォーラムin塩谷

福田知事と県民が直接対話する「とちぎ元氣フォーラムin塩谷」が6月16日、23日にオープンする塩谷町船生の道の駅「湧水の郷しおや」の地域交流センターで開かれた。町民約70人が参加し、放射能対策や産業振興などについて意見交換された。除染で生じる汚染土壌の処理につ

復興へ希望のともしびに

このページは、下野新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、東京新聞、日本経済新聞の記事を抜粋させていただきました。

連携し震災復興後押し

福島で関東知事会

1都9県で構成する関東知事会(会長・川勝静岡県知事)の定例会議が5月23日、福島県北塩原村のホテルで開かれた。福島第1原発事故の影響に苦しむ同県の観光振興支援の一環で、関東圏以外では異例の開催。「福島復興なくして日本の震災復興はない」とした上で、本県を含む被災地の復興を「連携して強力に後押しする」との支援決議を採択した。福田知事は本県観光地も風評被害に苦しんでいる実例を挙げ、「放射線量の検査結果など、情報公開の大切さを実感している」とし、各国大使館に情報提供する必要性を訴えた。また、首都機能のバックアップについて「先行する関西圏に後れを取らないよう関東知事会として受け入れる意思を表明すべきだ」と述べ、各都県知事の賛同を取り付けた。



鶴ヶ城の前で記念撮影する福田知事(左端)ら各県知事

震災、竜巻被害からの早期復興願う

市貝町で750人参加して県植樹祭

6月2日、県植樹祭が市貝町市塙の城見ヶ丘運動公園で、約750人が参加して開かれた。



4月23日、求職相談から職業紹介、職場定着まで総合的に就労を支援する「とちぎジョブモール」が宇都宮市駅前通り1丁目のフミックスシステムビル1階にオープンした。栃木労働局が同じビルに開いているハローワークと連携し、新卒者から障害のある人、高年齢層といった幅広い求職者に対し、口になってほしい」と挨拶した。

「厳しい雇用情勢が続くが、働きたい人が能力を最大限に生かせる社会が求められている。人生を豊かに生きる玄関」と挨拶した。

就労相談や職業紹介

「ジョブモール」開所

「はぐくもう 大きな木となる ちいさな芽」がテーマ。東日本震災や5月に起きた竜巻被害からの早期復興も願う記念植樹を行った。式典で福田知事は「緑豊かな環境は本県のかげがえのない財産。震災や竜巻からの復興に全力で取り組むので支援願いたい」と主催者あいさつした。



14年冬季国体の日光開催決定

「栃木の安全」広くPR

日本体育協会の岡崎専務理事らが5月10日、県庁を訪れ、福田知事に2014年の第69回冬季国体のスケート・アイスホッケー競技会の本県開催決定書を手渡し、18年ぶり8回目の冬季国体開催が正式決定した。

福田知事は「全国から来てくれた人に『安心して競技ができた』『いい思い出ができた』と言ってもらえるよう、最大限準備して成功に導きたい。世界で活躍する一流のアスリートを見ることが、子供たちが『自分もやってみよう』と思ってくれれば」と競技人口の増加にも期待していた。



東奔西走の日々

- ◇1月4日 幹部職員を前に年頭訓示／「県民目線、スピード重視に意を用いてもらいたい」と呼び掛ける。
- ◇1月10日 技能五輪金メダルの三品さんを知事特別表彰／「これからも精進して社会貢献をして」と知事。
- ◇1月28日 宇都宮で地方分権・地方自治フォーラム／「地方の税財源が一定確保された」と知事。
- ◇2月14日 県農業士制度40年祝う／「地域の牽引者、指導者として力添えを」。
- ◇2月16日 「e-Tax」PR／「混雑しないのでゆっくり申告できた」と知事。
- ◇3月11日 「とちぎ復興のつどい」／「震災を忘れることなく県民一丸となって全力を尽くそう」と知事。
- ◇3月17日 東京で「とちぎの魅力まるごとフェア」とちまるパーク／「栃木の食べ物も空気も水も安全、ぜひ栃木にお出かけを」とアピール。
- ◇4月2日 辞令交付式／「チーム県庁の即戦力になってほしい」と挨拶。
- ◇4月6日 春の交通安全運動で街頭PR／「県民一人一人に事故のない栃木づくりの先頭に立ってほしい」。
- ◇4月21日 「とちまるフェスティバル」／東京スカイツリーのお膝元で栃木をアピール。「ぜひ栃木に来て」。
- ◇5月7日 竜巻被害を受けた真岡市と益子、茂木両町を視察／「想像以上に大きな被害、復旧急ぐ」と知事。
- ◇5月14日 東京スカイツリー開業式典へ出席。
- ◇5月26日 とちぎ元気フォーラムin日光／日光誘客さらなる宣伝活動の必要性を強調。
- ◇5月28日 市町村長会議／「竜巻被災者へ県単独で見舞金支給を検討」。
- ◇6月9日 那須赤十字病院の竣工記念式典出席／「地域医療のニーズに的確に応えてほしい」と知事。
- ◇6月14日 とちぎ技術展示商談会in NISSAN／県内企業の技術力をアピール。



冬季国体の開催決定書を福田知事に手渡す岡崎専務理事

初講義「君は何がしたいのか？」

福田富一知事 日本大学客員教授就任



福田知事は母校の日本大学理工学部の要請を受けて、4月1日付で客員教授に就任した。大学院理工学研究科(不動産科学専攻)も兼務する。

5月7日、船橋キャンパス(千葉県船橋市)で、「君は何がしたいのか？」と題して初の講義を行った。

建築学科1年生280人を前に、「皆さんは本当に建築がやりたいのか」と学生に問いかけ、日大で学んだ人生訓を引き合いに「今一番大切だと思うことに時間をとおう」と強調。「棚からぼた餅の人生なんてない」とげきを飛ばした。さらに、「自分の能力を最大限発揮できる天職に必ず巡り合っ

てほしい。そのために大学生活や人生を大切に生き抜いて」などと熱弁を振るつた。講義中は質疑応答も行われ、最後に学生一人一人と握手をし、リポートを受け取った。

知事は「出席率も聞く態度も非常に良かった。講義の中で、生涯の言葉となるようなものが一つでも残ればという思いでチャレンジした」と、初講義をふり返った。知事の客員教授の任期は2014年3月までの2年間で本年度は7月と12月にも講義が予定されている。

尾瀬沼ハイキング

毎年恒例のハイキングは今年30回目を迎え、6月10日(日)、知事夫妻にとって思い出深い尾瀬沼へのハイキングとなった。雨が降ったり止んだりというあいにくの天候にもかかわらず、90名余の参加者は3台のバスに分乗し一路尾瀬沼へ向かった。

1号車の皆さんと

2号車の皆さんと

3号車の皆さんと



ゆりの会新年会



知事夫妻を囲んで、比企洋子さん率いるうなばらの会の皆さんとゆりの会の有志

ゆりの会新年会が2月19日(日)、ホテル東日本で400余名の参加者を得て開催された。前衆議院議員の船田元先生、上野通子参議院議員、青木和子栃木県日韓女性親善協会会長、県議会議員、市議会議員の夫人方からご挨拶をいただいた後で乾杯。新春の慶びと女性ならではの華やぎの中、知事と喜江子夫人を囲んで歓談。「うなばらの会」の

文化講演会のお知らせ



講師 アグネス・チャンさん
(歌手・エッセイスト)
演題 『明るくさわやかに生きる』
日時 8月31日(金)
午後6時30分 開会
場所 宇都宮グランドホテル
入場料 1,000円

※チケットご希望の方は事務所まで連絡下さい

ゆりの会新年会のお知らせ



ゆりの会のシンボルマーク

来年のゆりの会新年会は、会場の都合により下記の日程になりましたので予めお知らせ致します。

日時：2月3日(日)
AM 11:00～

場所：ホテル東日本宇都宮
会費：5,000円

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

編集後記

福田知事は2期8年を振り返り「光陰矢のごとしと思えるが、様々な課題が次から次へと押し寄せ、その克服の連続であった」と、本紙巻頭の挨拶に書いているが、山積する課題を一つ一つ解決に導いてきた知事の真摯な姿勢は、見守る周辺の私たちにも感銘を与えた。

福田知事が「日本一元気な栃木を目指したい」と3選出馬を表明した。誠実な日々を邁進する知事に、より多くの皆様のご支援を宜しくお願い致します。

◆◆福田富一知事と政治研究所
宇都宮市馬場通り2-1-12
電話 028(6333)1111
FAX 028(6333)1110

『福田家の茶の間』

夫の趣味はハイキングだが、なかなかプライベートでは出掛けられず、愛好会の皆さんとの年1回のハイキングが唯一の楽しみである。今年30回の節目を迎え、私の一番好きな場所、尾瀬沼にしてみました。



6月10日、雨が降ったり止んだり、のあいにくの天気、木道も滑り易く、アクシデントが起きてしまい、お気の毒な事になつてしまつたが、それでも尾瀬沼はいつもと変わらず迎えてくれた。澄んだ空気と静かな空間の中で私達を癒してくれた。今回も多くの方に助けられ良

くして頂いた。お世話になつた皆様には変らぬご支援を宜しくお願い致します。

夫から「明日出馬表明するよ」と言われた時、私は「そう」とだけ応えた。大変なときだが夫には頑張つてほしいと思つている。皆様には変らぬご支援を宜しくお願い致します。

た皆様に改めて感謝致します。休日の夜、写真を整理しながら夫と見比べて、思わず「あなた、随分老けたんじゃない」と言うと、「喜江子さんが苦労をかけるからだよ」と夫。お風呂上がりでリラックスしていたせいか余計そう見えたようだが、やはり随分白くなつた。大変なんだなと思ひ、もう少し優しく労わつてあげなくては、と反省したひとときであった。